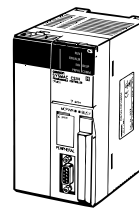


■ CPUユニット

PLCの心臓部にあたります。入力ユニットからの信号を読み取り、ユニットに内蔵されているメモリ部にあるプログラムの手順に従って判断し、出力ユニットに指示を出します。



CPUユニットは次の項目の違いで多くの種類があります。

① PLCに接続する入出力機器の数

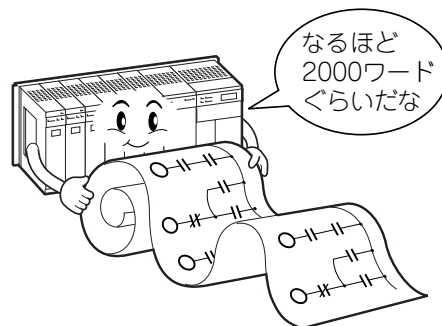
使用する入出力機器の数をI/O（アイオー）点数と呼びます。Iは入力（Input）、Oは出力（Output）を指しています。

I/O点数によって、ユニットの種類が異なります。

②記憶させることのできるプログラムの量（長さ）

PLCのメモリ部はお客様が作成したプログラムを記憶する場所です。ここをUM（ユーザメモリ）と呼びます。

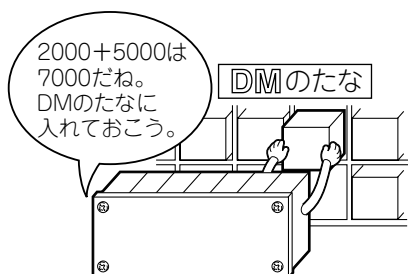
記憶できる量をプログラム容量といい、W（ワード）または、ステップで表します。



③記憶させることのできるデータの量

CPUユニットのPLCのメモリ部の中には、特別に数値などを記憶しておくことができる場所を用意してあります。ここをDM（データメモリ）と呼び、データの量をW（ワード）で表します。

ここに生産数や不良品数、計算結果などの数値などのデータを記憶させておくことで、PLCによるデータの処理ができるようになります。

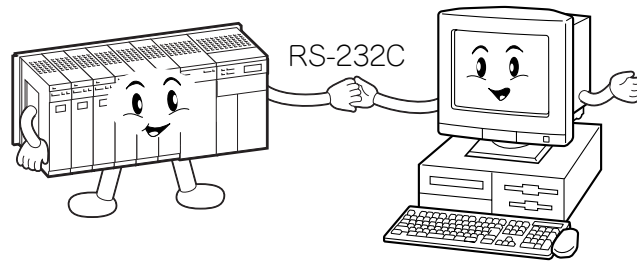


### 第3章 PLCの基本構成

#### ④ RS-232C ポートの有無

RS-232Cとは通信を行うための代表的な規格です。PLCがこのコネクタ（ポートと呼ぶ）を持つことで、同じRS-232Cのポートを持つ機器と通信（データのやりとり）ができるようになります。例えば、パソコンやプログラマブルターミナル\*などもRS-232Cのポートを持っているため、PLCと接続し信号のやりとりをすることができます。

\* プログラマブルターミナル  
PLCハード  
編テキスト  
P56～参照



カタログを見てみましょう。

セクション  
カタログ  
P149,219

<形CS1 CPUユニットの形式の一例>

商品名称	仕 様				形 式	標準価格
	UM	DM	I/O点数	RS-232Cポート		
	3.2KW	64KW	960	○	形 CS1G-CPU42H	90,000
	7.2KW	64KW	1280	○	形 CS1G-CPU44H	130,000
	15.2KW	64KW	5120	○	形 CS1H-CPU64H	210,000

○はポートを持っていることを表す